

議事概要記録

開催日時	平成28年9月10日(土) 15:00～17:00	開催場所	済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
会議種別	平成28年度 第5回理事会	議長	畑 忠良
		書記	神藤 洋次
出席者 <敬称略>	竹中 正人、大石 博晃、畑 忠良、木下 博之、田中 規仁、神藤 洋次、 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、稲垣 充也、久保 光史 田原 靖子、山本 須美子、相根 弘史、瀧口 良重、15名		
欠席者 <敬称略>	湊 健、脇村 小津江	オブザーバー	
次第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 第5回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ データ標準化 ⑥ 会誌編集 ⑦ ホームページ ⑧ 会報 ⑨ 月例行事予定表 7. その他 和歌山県医学検査学会進捗報告 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その他 		
	決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・畑副会長より開会宣言があった。 冒頭、竹中会長より挨拶があった。今回の参議院選挙結果の報告と日臨技事業である、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会や検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会の受講率を上げていきたいとあり、検体採取には関しては、日臨技より報告があり和臨技の受講率は約半数で今後の講習会に参加して受講率を上げていきたいと開会の挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告 日臨技関連として</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 9月17日(土)に日臨技理事会出席する予定であるとのことであった。 日臨技関連事業として検体採取等に関する厚生労働省指定講習会や検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会の受講率を上げていきたいとのことであった。 日臨技支部関連の今後の予定として 	

- ① 9月17日（土）に大阪検査技師会創立65周年、法人設立30周年記念式典の出席者について、常務理事全員が所用のため出席できず、玉置達紀前和臨技会長に代理出席して頂く事で審議し承認された。
- ② 10月22日（土）に 近畿支部内連絡会議予定とのことであった。
和臨技関連の今後の予定として
- ① 10月29日（土）、30日（日）に検査説明・相談ができる技師育成講習会（紀三井寺はやし）が開催予定であり和臨技役員施設内の広報協力の依頼があった。
他団体関連として
- ① 6月30日（木）に和歌山県病院協会 理事長・メディカルスタッフ団体懇談会に参加したと報告があった。
- ② 7月11日（月）に和歌山県知事・メディカルスタッフ団体懇談会に参加したと報告があった。
- ③ 8月10日（水）に県病院協会学術大会打ち合わせ会議に参加して和臨技より3題の演題発表が予定されており県病院協会学術大会への参加広報の依頼あった。
- ④ 8月21日（日）に県栄養士会元会長 藤澤祥子氏 旭日双公章受章祝賀会に参加したと報告があった。
議長より検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講率が約半数と説明があった。

第5回常務会報告

- ① メーリングリスト参加者増への取り組みについて、参加することによるメリットや技師会以外には使用しないなど安全性も広報し、和歌山県医学検査学会など会員の集まる機会にブースを設置して、メーリングリスト参加の勧誘を行いたいと説明があり審議し承認された。
- ② WLCDE認定委員に有田市立病院の山本須美子理事を推薦したいと説明があり審議し承認された。
- ③ 近畿支部OB会 新規入会者の紹介について、今回の新規紹介者は無と報告するとあった。
- ④ 表彰関連候補者の選定について、平成28年度保健衛生功労者知事感謝状について表彰審査委員会で決定済である公立那賀病院 蓬台克之技師長を推薦すると報告があった。
- ⑤ 平成28年度感染対策講習会の和臨技候補者を有田市立病院から候補者を選定していきたいと説明があり審議し承認された。
- ⑥ 年度末に送っている賛助会員、広告掲載申込用紙の内容について、和歌山県医学検査学会抄録集広告を年度末に送らず、和歌山学会を担当する事務局が送付する方法に見直したいとあったが常務理事会で継続審議となり今後変更の可能性もあると報告があった。
- ⑦ 平成28年度日臨技中四国医学検査学会より災害シンポジウム講師を和歌山県技師会に依頼があり、紀南病院、玉置達紀前和臨技会長を派遣したいと説明があり審議し承認された。

事務局報告

- ① 7月1日（金）に第3回和歌山県コーチング研究会後援依頼回答をし、その後同会より勉強会案内があったと報告した。
- ② 7月20日（水）にわかやまNPO広場「市民活動団体検索」の団体登録確認票を提出と報告した。

- ③ 8月5日(金)に和歌山地域糖尿病療養指導士(WLCDE)認定委員推薦依頼があり、今理事会にて有田市立病院の山本須美子理事が承認されたので、推薦書を提出すると報告した。
- ④ 8月17日(水)に平成28年度全国『検査と健康展』開催に向けての説明書が日臨技より届いた事を報告し、和歌山県で行う検査展は医療セミナーと同時開催するため役員各位に協力依頼を行った。
- ⑤ 8月23日(火)平成28年度保健衛生(医事)功労者に対する知事感謝状贈呈者推薦書が届き、表彰審査委員会で決定済である公立那賀病院 蓬台克之技師長を推薦すると報告した。
- ⑥ 8月29日(火)に検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講率促進の依頼が届き和臨技受講率は約半数と報告し、今後、和臨技会員の受講促進広報を依頼した。
- ⑦ 8月30日(火)に第32回和歌山県公衆衛生学会の開催及び演題募集が届いたことを報告した。

学術部報告

- ① 血液研究班班長よりライブラリを作成し勉強会等で使用したいと報告があった。内容としてはExcelベースで作成し、項目としては材料、疾患名、血液・生化学データ、血液像、骨髓像、その他検査(FCM、FISH等)、患者背景、所見・コメント(当初は画像のデータベース化までは計画していません)。症例登録時は個人が特定できないようにし、また各所属長の了承が必要となることと報告があった。
蓬台監事より、各所属長に提出する申請書の作成が提案され、ライブラリ実動までに作成することとなった。
- ② 学術部所用物品の処分について、WinXPのPCを廃棄処分、プロジェクター2台を廃棄処分、タブレットPCを和歌山医大管理に変更し管理者を箕浦技師と決定した。次にレーザーポインターを1つ成人病センター管理に変更したいと説明があり審議し承認された。
- ③ 7月9日(土)～7月10日(日)に日臨技の検体採取等に関する厚生労働省指定講習会が開催され、実務員として木下、大石、久保、相根、三宅、伊庭、堀端、和田、林、井本、佐藤、南方が参加した。しかし講習会参加と実務員を兼務の場合は、講義中は会場を離れることができないため、3名程度は講習会参加済の実務員を起用するなど考慮する必要があると報告があった。
- ④ 和歌山県病院協会学術集会関連で
8月3日(水)にシンポジウム「診療報酬改定と病院機能」
ー和歌山県における臨床検査技師のチーム医療参加への現況ー抄録提出したと報告があった。
9月7日(水)に第2回シンポジウム会議に出席したと報告があった。
10月19日(水)までにスライド提出と報告があった。
- ⑤ Werfen血液凝固セミナー in wakayama 2017 後援名称使用についての説明があり審議し承認された。
和臨技は日臨技規定に基づいているため、各研究班が企業と共催、協賛はできないが、後援に関しては今後ルールを明確化して行くことで継続審議となった。

経理部報告

特になし

各種委員会報告

公益事業活動

第17回医療セミナーinわかやまについて

11月19日(土)、和歌山医大研修センターで、全国「検査と健康展」と同時開催予定と説明があり、医大周辺地域にチラシ1万部を配布予定であると説明があった。また配布する際には、保健所に許可がいるため必要書類を提出予定と報告があった。

H I V事業

11月19日(土)、和歌山大学で開催予定であり、実務委員として12名を派遣すると報告があった。

ピンクリボン事業

10月9日(日)に開催すると報告があった。

定款・渉外

特になし

災害対策委員会

- ① 和歌山県臨床検査技師会災害マニュアルについて説明があった。今後マニュアルを配布する前に、災害を想定したシミュレーションを実施し、追加する書類等が無いか検証することで承認された。
- ② 災害フォーラムを12月23日(金)に開催予定であるが、内容に関して当初、救急処置の実習をする予定であったが、講師の関係で講義のみとなったと説明があり審議し承認された。

精度管理

- ① 和臨技精度管理回答報告方法をデジタル化による回答方法に変更したいという
件でFAX回答を使用している施設に変更を打診した結果、変更可能と回答を得た事で、和臨技ホームページより説明文等をダウンロードする方式に変更となったと報告があった。
- ② 和臨技精度管理事業の進捗状況として8月28日(日)に梱包し、検体輸送時の改善ポイントとして運送会社の輸送容器を使用し冷媒も変更したと説明があった。今後は集計作業を行い、速報・最終報告作業を行う。
速報・報告会前での最終報告に関してはホームページアップを検討中。
例年、参加証と共に最終報告書をCDにて各施設に配布しているがこの作業についてもホームページによる運用に切り替えできないかを検証する事で継続審議となった。

データ標準化

特になし

久保理事より今年度より日本臨床検査技師会 免疫血清WG及び医療関連サービスマーク制度調査実地指導員に就任したと報告があった。

会誌編集

論文募集に際して、前年度に和歌山学会がなかったこともあり、各施設に募集協力要請があった。会誌和臨技の募集締切り時期が12月1日(木)と報告があった。

ホームページ

現行の契約ではホームページの容量も少ないため、内容を整理して現状の状況を把握すると説明があった。

会報

会報 67 号は近畿学会の実務委員さんの写真、病院紹介、新理事紹介記事等の内容で掲載して、発行は 11 月行事予定表の配布にあわせる形で準備中であり、原稿の追加がある場合は、9 月 20 日（火）までに原稿をくださいと報告があった。

月例行事予定表

特になし

その他

和歌山県医学検査学会

和歌山県医学検査学会の日程内容の説明があった。

学会前日関連行事の日程、場所等の説明があった。

久保理事より、日本医療マネジメント学会の演題募集と開催案内の報告があった。

審議事項

日臨技精度管理システムを和臨技でも使用してはどうかと久保理事より提案があったが、費用や効果などの情報を収集することより始め継続審議となった。

大石副会長より閉会宣言で、今後、色々な事業があり役員各位の協力が必要であると挨拶があった。

記録作成	平成 28 年 9 月 18 日	氏 名	神藤 洋次	提 出	平成 28 年 9 月 21 日
------	------------------	-----	-------	-----	------------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可